

平成28年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	ウニの受精、ホヤの自己非自己認識、プログラム細胞死		
実習内容	<p>1. 磯採集：ホヤをはじめとする海産無脊椎動物の分類</p> <p>2. ウニの受精機構：特に、種特異性、先体反応、多精拒否、卵割の機構を探る。</p> <p>3. ホヤの自己非自己認識機構：カタユレイボヤまたはマボヤの受精における自己非自己認識機構を探る。</p> <p>4. ミニプロジェクト：上記の基礎実習を受けて、①ウニやホヤの受精と自他認識機構、②ホヤの発生機構、③プログラム細胞死（アポトーシス）、④プロテオーム解析、⑤系統分類解析、のいずれかのグループに分かれて、小さな研究を遂行する。それぞれの分野について教員から包括的な講義を受けた後、参加者自らが問題を設定し、実験を計画・遂行する。得られた結果について発表会を行い、お互いに討論する。</p>		
実習内容キーワード	受精、自己非自己認識、ホヤ、ウニ、胚発生、アポトーシス		
担当教員氏名・所属・役職名	澤田 均（名古屋大学大学院理学研究科・教授、臨海実験所長） 荒木 聡彦（名古屋大学大学院理学研究科・講師） 白江-倉林 麻貴（名古屋大学大学院理学研究科・特任助教） 伊勢優史（名古屋大学大学院理学研究科・特任助教） 中澤志織（名古屋大学大学院理学研究科・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	大学1～3年生	開講期間	2017年2月27日～3月3日
開講大学・施設名	名古屋大学・大学院理学研究科附属臨海実験所（菅島臨海実験所）		
施設の住所	〒517-0004 三重県鳥羽市菅島町 429-63		
電話	0599-34-2456	F a x	0599-34-2456
e-mail	hsawada@bio.nagoya-u.ac.jp	Web Site	http://www.bio.nagoya-u.ac.jp/~SugashimaMBL/index.html
交通案内	近鉄中之郷駅（無人駅）を下車し、中之郷棧橋に午前11時45分に集合。そこから実験所の船で菅島に渡る。集合場所等の詳細については、臨海実験所のホームページを参照すること。		
費用	交通費の他に、9,000円（全日程分・定額）の食費・宿泊費等が必要。		
授業科目名	海洋生物学実習及び講義1		
単位数	2単位	定員数	10名
授業料の徴収について	国立大学法人の学生に関しては授業料不徴収。公立私立大学の学生の場合には、特別聴講生の授業料（29,600円の予定）が必要となる。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超えた時は、大学間のバランスを考慮して抽選により選抜する。申込締切日：H28.12.19（定員に満たない場合には引き続き募集する）		
選抜結果連絡法	H.28.12.27以降に、本学より電子メールで通知する。		